

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 3 月 31 日作成)

小委員会名	耐衝撃性能の評価小委員会		主 査 名：橋 英三郎 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>重要構造物への飛来物による衝突・衝撃問題やガスや火薬などによる爆発時の挙動の解明を行い、耐衝突、耐衝撃、耐爆の性能評価に関するガイドラインを提案する。本小委員会設置申請時における各年度活動計画は以下の通り。</p> <p>2008年度：国の内外における関連規基準の整理。各種事例のシミュレーション等による検証。シンポジウム開催</p> <p>2009年度：耐衝突、耐衝撃、耐爆の性能評価ガイドライン作成（第1素案）、大会においてPDの開催</p> <p>2010年度：第1素案の再検討、同（第2素案）の作成</p> <p>2011年度：第2素案の再検討、同（第3素案）の作成、シンポジウムの開催</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	野中泰二郎（京都大学名誉教授）、橋英三郎（主査・大阪大学）、片山雅英（幹事・伊藤忠テクノソリューションズ）、向井洋一（奈良女子大学）、櫛部淳道（竹中工務店）、世戸憲治（北海学園大学）、中山昭夫（福山大学）、西田明美（原子力機構）、加藤政利（五洋建設）、坪田張二（鹿島建設）、中村尚弘（竹中工務店）、濱本卓司（東京都市大学）、河西良幸（前橋工科大学）、岡本達雄（竹中工務店）、山野辺宏治（清水建設）		
設置 WG (WG 名：目的)	耐衝撃・耐爆設計ガイドライン作成WG： 耐衝撃・耐爆設計ガイドラインの策定作業		
2009 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD：衝突・爆発などの衝撃的な外力による構造被害の低減化について考える 参加者数 72 名 『構造部門（応用力学）パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 大会でPDを開催し、パネリストからの話題提供を通じて活発なディスカッションを行い、ガイドライン策定へのスタートをきった。 2. 「建築物の耐衝撃設計に関するワークショップ」を東京工業大学と共催した（3月17～18日、東京工業大学）。 達成度 90%
委員会活動の問題点・課題	1. 昨今、遠隔地からの委員会参加が益々困難になりつつあります。 ネットミーティングやIP電話会議など、既に利用されている委員会があれば、有効性などをお教えます。